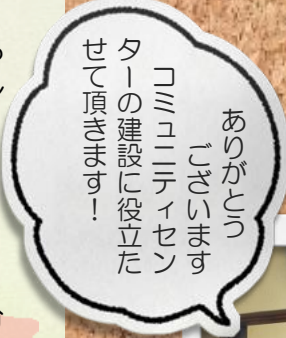




ディサービス
部門

生活相談員 古澤 幸子



*内堀氏は当法人の
理事でもいらっしゃいます

さったみなさま、本当にありがとうございました。

お蔭様で、九四〇一二円！
のご寄付をさせて頂く事ができました。大きな大きな建築資金からみれば、小さな金額ではありますが、多くの方々
のコミュニティセンターに寄せる想いが詰まったお金を、
無事にお届けした後、ますます地域の拠点として、そして憩いの場としての新しいセンターを思い描いて建物の完成がとも楽しみになりました。
どうぞ、素敵なコミュニティ・センターが出来ますように。

施設長 長谷川 美樹

いまだ寒さが続く日々の中にも時折頬にあたる風に早春の気配を感じる頃となりました。私が前任者から、業務を引き継ぎ5月で丸1年を迎える事となります。突然任された大役に、自分で大丈夫だろうかと不安の中、他のスタッフの協力や上司からのアドバイス、またご利用者様やご家族からの温かいお言葉を頂きながら、無事に勤める事が出来ました事に改めて感謝いたします。元々、介護支援専門員の資格を取得したのも、介護福祉士として現場を中心とした仕事をしながら、もう一度介護保険制度を勉強して、より利用者様やご家族と向き合って必要な支援をしたいと思ったからです。

時代的には、介護業界にも家電などで知られるようになったAI（人工知能）の話が聞かれるようになってきましたが、私としては上手く活用できればと考える反面、人と向き合う仕事の全てにおいては合理化は出来ないと思っていますし、そのような考え自体、介護の世界には合わないのではないかと考えます。その人の生活歴や絶えず変化してゆく病気や加齢による身体状況、家族関係、その時々への想いや願い等々、細かなところまで目を配り、しっかりとその時に必要な事は何か、見極めながら支援を行ってゆくということが大切なのであり、またその支援の方法も一通りではないと思っています。その為にも自己研鑽しながら、今後も利用者様やご家族と向き合い、サービスを行って参りたいと思います。



桜の開花宣言もあり、花見が待ち遠しい今日この頃ですが、早いものでこの施設通信も今回が55号となり、次の通信は新元号になっての発行となります。イベントの案内にもありますように施設もこの夏には15周年を迎え、今年は色々な意味で節目の年となりそうです。私の好きな言葉にサミュエル・ウルマンの「年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる」という『青春』という言葉があります。この春、皆さんがまた新たな理想を持って生活の一步を踏み出されますように！



Events

6月 1日（土）19時より
ふじの郷開設15周年記念
介護講座
講師：齋藤 吉由氏

お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

訪問入浴部門管理者 早瀬 ゆかり

訪問入浴

